



# 都中P通信

No.51

発行 平成28年11月 東京都公立中学校 PTA 協議会 会長 木澤 勝

## 三宅島に行ってきました

10月28日～30日、表記の島しょ地区大会に、木澤会長、岩田前会長、加納事務局長の3人で参加してきました。



会場の三宅高校

第23回東京都島しょ PTA 連絡協議会合同研修会 三宅島・御蔵島大会

## 「子供が伝える 島の魅力 郷土愛と島の未来」

～島しょ地域における ICT の効果的な活用をめざして～

都中P事務局長 加納 京子

### 全体会講演：あきらめない心 一山一家



日時：平成28年10月29日(土)

会場：都立三宅高校体育館

講師：坂本 征夫 氏 (常磐興産 顧問)



オープニングセレモニーのフラダンス

およそ半世紀前の石炭から石油への転換という「エネルギー革命」、そして2011年の原発事故という国のエネルギー政策に起因する危機。2度にわたりエネルギーの問題に翻弄された常磐興産。“企業存続”と“地域経済の疲弊”という危機を乗り越えたもの、乗り越えようとしているものはなにか。

#### 【第一次改革】：「炭鉱」から「観光」への転換

【“もうダメだ”から日本初の「テーマパーク」を起業】

炭鉱(やま)の火が消える。常磐の明日はない。という強烈な危機意識から考え方を転換し、環境適応事業への変革を発想。→日本のハワイ“常磐ハワイアンセンター”の創設。開業(1966年1月)。



講演会場の三宅高校体育館

#### 【第二次改革】

【見えざる経営資源】として95年に及び炭鉱経営で培われた常磐文化(常磐DNA)があった。

①一山一家、総親和・総努力で様々な危機を乗り越えた。②手作りの精神でフラガールという独自の商品を生み出した。③土着という地域との一体化がハワイアンズ経営のバックボーンとなった。「常磐ハワイアンセンター」から「スパリゾートハワイアンズ」へ改称(1990年3月)。

#### 【復興：四重苦との闘い】

2011年3月11日東日本大震災、3月15日原発事故避難指示、“風評被害発生”、4月11日直下型余震(地盤変位)。このとき“もうダメだ”から、いわき福島の「安全・安心・元気」をビジュアルで示そうとフラガール全国キャラバンへ。このことが東日本大震災の復興のシンボルとまで言われ、達成感の繰り返し、実感が「力量」を上げている。

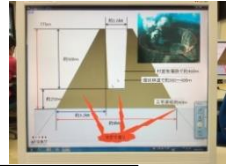
「オール常磐」「すべてのものは地元調達」という地域の団結の強さが常磐の復興の元となった。

常磐興産は今後もいわき観光のオピニオンリーダーとして観光交流人口を元に戻すことに最大の努力を尽くす所存、ということです。

# 大会分科会の様子

午前中の全体会では講演を通じて三宅島の方々と災害からの復興に向けた思いを共有することができました。午後は5つの分科会に分かれて研修を行いました。

\*第1分科会 三宅の火山の歴史と伊豆諸島「火山との共生」と題して、気象庁の専門家から火山の歴史と地震のしくみについて学びました。



\*第2分科会「神着木遣り太鼓」

三宅島の文化体験で太鼓に取り組み。木澤会長と岩田顧問が参加しました。



太鼓を叩く木澤会長

\*第3分科会「火山と大浴池」 バスによる島内巡り、三宅島自然ガイドウォーク

\*第4分科会「ICT で広がる世界」 ICT 機器を使って子ども達が郷土三宅島について発表しました。



\*第5分科会「おもしろ進路講演」



前向きに自分が思い描いた目的に向かって行く。親は(孫としても)プレッシャーを見守ることが大切です。



出港する橋号



朝5時のお迎え



懇親会



木澤会長挨拶



救命胴衣の確認



雨の中の島内観光



伊豆岬灯台



あしたば音頭大島バージョン

風雨の中の見送り

**木澤会長** 私は島しょPTA大会に参加するにあたり、これまで都中Pの発展に尽力されてきた先人・OBの皆様より「島の楽しさ・人の温かさ」を聞かせていただき大会当日を迎えました。聞いていた以上の島しょPTAの皆様の方に感動しました。特に開催地の三宅島においては、そこかしこで現PTAで活動している方以外の島民の皆様からPTA活動への励ましの言葉をかけていただく等、地域全員でPTAを盛り上げていただいている事に「PTAの理想像」を感じました。その姿は全国のPTAにとっても「宝」だと感じました。運営に関わった皆様とその御家族に感謝すると共に、島しょの皆様活動を他地域の皆様にもお伝えする努力をして参ります。

**岩田顧問(前会長)** 今回、二年に一度開催される伊豆七島島しょ大会、三宅島・御蔵島地区島しょ大会に参加してきました。島しょPTA連絡協議会山田会長を始め運営委員会の皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございました。島しょ大会は各島で活躍されているPTAの方々、知り合うことができるよい機会であり、なによりも自然と島の皆さまの思いが創る大会自体がとても素晴らしいものでした。次回の島しょ大会には是非こちらからも多く参加したいと感じました。

**加納事務局長** 日頃、メールやFAXで交信している理事の方々とは直接お会いしたくて島しょ大会に参加させていただきました。国の天然記念物にもなっているアカコッコの可愛らしさに魅せられグッズの販売について伺ったところ、アカコッコ館まで車を出して下さったり、懇親会で使用したアカコッコのコースターを集めて船着場まで持って来て下さったり、島の方々の温かさに感動した訪問となりました。今後共、島の方々とのつながりを大切に行きたいと思っております。

都中P推薦

## 全国学生保障援助会の学生総合保険

お子様のケガやご家族の賠償事故を24時間保障する制度です。「疾病補償プラン」と「ケガ充実補償プラン」を用意しています。扶養者が事故により亡くなられた際には育英

費用のお支払いもあり、在学中に必要な補償を総合的にカバーする設計となっています。昨今話題の自転車に乗っている際に、歩行者の第三者をケガさせた場合の補償も本保険にセットされています。

中学・高校生総合保険  
 かけ足で成長する子どもたちの足もとを「安心」で囲めます。  
 特典 学校生活安心ダイヤル他



連絡先：東京都公立中学校PTA協議会 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里1-5-2 (株)ハセベ3F  
 TEL:03-6806-6736 FAX:03-6806-6738 e-mail:jpta@tokyo-jpta.org 事務局：加納